

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（バンクローン）
設定日	2018年4月24日
信託期間	2018年4月24日～2028年4月21日（約10年）
運用方針	連動債券への投資を通じて、主として欧州通貨建てのバンクローン等を実質的に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。 バンクローン等への実質的な投資は、ルクセンブルグ籍外国投資信託「インベスコ・ゾディアック・ファンズーインベスコ・ヨーロピアン・シニアローン・ファンド」（連動対象ファンド）の投資成果を反映する仕組みの円建て債券（連動債券）を通じて行います。 連動債券への投資比率は、原則として高位に維持します。 連動対象ファンドを対円で為替ヘッジした場合の投資成果を反映した連動債券に投資し、為替変動リスクの低減を目指します。
主要運用対象	連動債券への投資を通じて、欧州のバンクローン等を実質的な主要投資対象とします。
投資制限	・株式への投資は行いません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎月21日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

運用報告書（全体版）

第2作成期

決算日

第7期	2018年11月21日
第8期	2018年12月21日
第9期	2019年1月21日
第10期	2019年2月21日
第11期	2019年3月22日
第12期	2019年4月22日

欧州バンクローン・オープン （為替ヘッジあり）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）」は、上記の通り決算を行いました。

ここに、第2作成期（第7期～第12期）の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）



三井住友DSアセットマネジメント

（旧：大和住銀投信投資顧問）

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

<https://www.smd-am.co.jp>

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	債券先物 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 込配 分金	騰落 中率			
(設定日) 2018年4月24日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 193
第1期 (2018年5月21日)	9,989	0	△0.1	74.5	—	802
第2期 (2018年6月21日)	9,941	0	△0.5	94.8	—	1,397
第3期 (2018年7月23日)	9,925	0	△0.2	94.6	—	1,675
第4期 (2018年8月21日)	9,936	10	0.2	94.5	—	1,749
第5期 (2018年9月21日)	9,965	10	0.4	98.1	—	1,726
第6期 (2018年10月22日)	9,994	10	0.4	95.5	—	1,818
第7期 (2018年11月21日)	9,914	10	△0.7	96.2	—	1,767
第8期 (2018年12月21日)	9,742	10	△1.6	97.0	—	1,756
第9期 (2019年1月21日)	9,778	10	0.5	97.8	—	1,746
第10期 (2019年2月21日)	9,820	10	0.5	98.5	—	1,737
第11期 (2019年3月22日)	9,907	10	1.0	96.3	—	1,649
第12期 (2019年4月22日)	9,966	10	0.7	97.3	—	1,640

*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

*基準価額の騰落率は分配金込み

*先物組入比率は、買建比率－売建比率

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率 組 入 比	債 券 先 物 率 組 入 比
		騰 落 率	騰 落 率		
第7期	(期首) 2018年10月22日	円	%	%	%
	10月末	9,994	—	95.5	—
	(期末) 2018年11月21日	9,982	△0.1	96.6	—
第8期	(期首) 2018年11月21日	9,924	△0.7	96.2	—
	11月末	9,914	—	96.2	—
	(期末) 2018年12月21日	9,849	△0.7	94.6	—
第9期	(期首) 2018年12月21日	9,752	△1.6	97.0	—
	12月末	9,742	—	97.0	—
	(期末) 2019年1月21日	9,729	△0.1	97.0	—
第10期	(期首) 2019年1月21日	9,788	0.5	97.8	—
	1月末	9,778	—	97.8	—
	(期末) 2019年2月21日	9,787	0.1	98.4	—
第11期	(期首) 2019年2月21日	9,830	0.5	98.5	—
	2月末	9,820	—	98.5	—
	(期末) 2019年3月22日	9,850	0.3	96.5	—
第12期	(期首) 2019年3月22日	9,917	1.0	96.3	—
	3月末	9,907	—	96.3	—
	(期末) 2019年4月22日	9,895	△0.1	96.3	—
		9,976	0.7	97.3	—

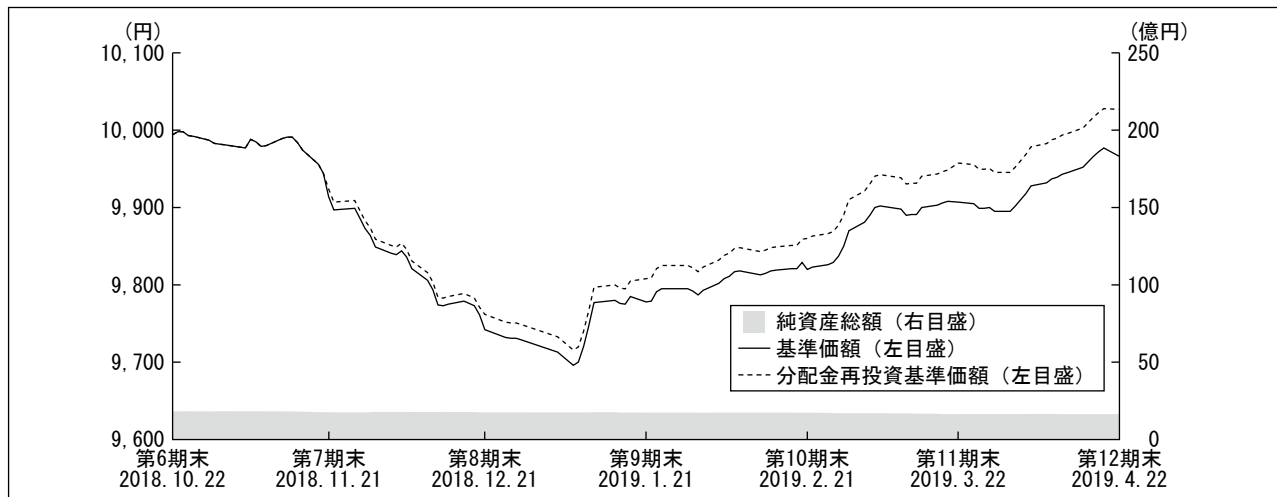
* 騰落率は期首比です。

* 期末基準価額は分配金込み

* 先物組入比率は、買建比率－売建比率

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第7期首：9,994円

第12期末：9,966円（作成対象期間における期中分配金合計額 60円）

騰落率：+0.3%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、連動債券（為替ヘッジあり）への投資を通じて、主として欧州通貨建てのバンクローン等に実質的に投資を行いました。

（上昇要因）

主に投資をしているバンクローン資産からの高いインカムゲイン（利息収入）を安定的に享受したことが、基準価額の上昇要因となりました。また、B格を中心とした格付け配分が奏功したことも、基準価額の上昇要因となりました。

（下落要因）

世界経済の減速懸念やBrexit（英国のEUからの離脱）問題などから価格がやや軟調となったことが、基準価額の下落要因となりました。

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

【投資環境】

作成期を通じて見ると、バンクローン市場のパフォーマンスは、世界経済の減速懸念やBrexit問題などから価格が軟化する局面もありましたが、安定したクーポン収入に支えられてプラスのリターンとなりました。

作成期初のバンクローン市場は、世界経済の減速懸念やBrexit問題などを受けて投資家心理が悪化、米国バンクローン市場の大幅下落の影響もあり軟調に推移しました。

作成期中盤である2019年年初からは、米国の堅調な経済指標などを受けて世界経済の減速への警戒感が後退したこと、米中貿易協議の進展期待などを背景に投資家心理が改善して買い戻される展開となり、上昇に転じました。

作成期後半は、3月のFOMC（米連邦公開市場委員会）を受けて米国金利の上昇が見込めない状況になったことから米ドル建てのローンを中心に下落する場面も見られましたが、発行体を取り巻くファンダメンタルズ（基礎的条件）が依然良好な中、CLO（ローン担保証券）や機関投資家の買い需要が継続し、堅調な推移となりました。

【ポートフォリオ】

■欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

バンクローン等への実質的な投資は、ルクセンブルグ籍外国投資信託「インベスコ・ゾディアック・ファンズーインベスコ・ヨーロピアン・シニアローン・ファンド」（連動対象ファンド）を対円で為替ヘッジした場合の投資成果を反映する仕組みの円建て債券（連動債券）を通じて行い、作成期末の債券組入比率は97.3%としました。

■インベスコ・ゾディアック・ファンズーインベスコ・ヨーロピアン・シニアローン・ファンド（連動対象ファンド）

主として欧州通貨建てのバンクローンへの実質的な投資を高位に保つ運用を行いました。

銘柄選択では、業況不振が見込まれる銘柄や信用力に問題のある銘柄への投資を抑制し、第一優先権を有するシニア債務を中心に投資し、格付け別ではB格への配分を高位に保ちました。

業種別では、リスク調整後の相対価値を勘案し、サービス、情報技術およびヘルスケア関連銘柄への配分を高位に保つ一方、航空宇宙、放送および食品・タバコ関連銘柄への配分を低位に保ちました。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

【分配金】

収益分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第7期～第12期の各期において10円とさせていただきます。（1万口当り税込み）

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期
	2018年10月23日 ～2018年11月21日	2018年11月22日 ～2018年12月21日	2018年12月22日 ～2019年1月21日	2019年1月22日 ～2019年2月21日	2019年2月22日 ～2019年3月22日	2019年3月23日 ～2019年4月22日
当期分配金 (円)	10	10	10	10	10	10
(対基準価額比率) (%)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
当期の収益 (円)	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	143	160	179	200	223	247

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

引き続き、運用の基本方針に従い、連動債券への投資を通じて、主として欧州通貨建てのバンクローン等に実質的に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。

■インベスコ・ゾディアック・ファンズ・インベスコ・ヨーロピアン・シニアローン・ファンド（連動対象ファンド）

ECB（欧州中央銀行）は、マクロ経済環境の悪化（および低インフレ）などを受け、3月の理事会で2019年の成長見通しの下方修正、政策金利の据え置き見通しの年内延長を発表しました。長引くマイナス金利は、銀行システムへの影響を通じて、ユーロ圏景気への逆風となりそうですが、この影響を軽減するため、ECBでは預金金利の階層設定導入が議論されています。こうした中、ECBによる金融政策やリスク評価に変更は示されず、引き続きEURIBOR（欧州銀行間取引金利）はマイナス圏で推移する見通しです。このような投資環境下、発行時のスプレッド水準の拡大によって利回りは依然として魅力的と思われる水準で、CLOの発行や機関投資家からの潜在的な需要は引き続き良好な見通しです。欧州圏の政治情勢、貿易問題に対する懸念などは引き続きリスク要因として考えられますが、バンクローンは相対的に価格変動性が低く、担保を有しているという観点からも魅力的であると考えています。

当ファンドでは、リスク調整後の相対価値を重視しながら、引き続き、発行体のファンダメンタルズに対する詳細な調査を行い、個々のローンなどのバリュエーション（投資価値評価）を考慮したバランスの取れたポートフォリオの運営を行ってまいります。

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

1万口当りの費用明細

項目	第7期～第12期		項目の概要
	2018年10月23日～2019年4月22日		
	金額	比率	
信託報酬	49円	0.498%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は9,849円です。
（投信会社）	(16)	(0.162)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(32)	(0.323)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.013)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	1	0.012	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.006)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	50	0.510	

* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

売買及び取引の状況

（2018年10月23日から2019年4月22日まで）

■公社債

決算期		第7期～第12期	
		買付額	売付額
国内	社債	千円 68,446	千円 183,922

* 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

* 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれていません。

主要な売買銘柄

（2018年10月23日から2019年4月22日まで）

■公社債

第7期～第12期		第12期	
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
STAR Helios IESLF H 0 04/12/28	68,446	STAR Helios IESLF H 0 04/12/28	183,922

* 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

利害関係人との取引状況等

（2018年10月23日から2019年4月22日まで）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

2019年4月22日現在

■ 公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	第 12 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
普 通 社 債 券	1,640,000 (1,640,000)	1,595,720 (1,595,720)	97.3 (97.3)	— (—)	97.3 (97.3)	— (—)	— (—)
合 計	1,640,000 (1,640,000)	1,595,720 (1,595,720)	97.3 (97.3)	— (—)	97.3 (97.3)	— (—)	— (—)

*（ ）内は、非上場債で内書き

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

B 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

銘 柄	第 12 期				末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
(普通社債券)	%	千円	千円		
STAR Helios IESLF H 04/12/2028	0.0000	1,640,000	1,595,720	2028/04/12	
合 計	—	1,640,000	1,595,720	—	

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

投資信託財産の構成

2019年4月22日現在

項 目	第 12 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	1,595,720	97.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	49,402	3.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,645,122	100.0

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年11月21日) (2018年12月21日) (2019年1月21日) (2019年2月21日) (2019年3月22日) (2019年4月22日)現在

項 目	第 7 期 末	第 8 期 末	第 9 期 末	第 10 期 末	第 11 期 末	第 12 期 末
(A) 資 産	1,809,659,708円	1,774,446,793円	1,767,972,809円	1,745,776,567円	1,684,347,035円	1,645,122,234円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	109,534,798	69,497,478	59,358,694	32,782,596	94,267,199	48,386,453
公 社 債(評価額)	1,699,632,000	1,704,350,000	1,707,910,000	1,712,182,000	1,589,160,000	1,595,720,000
そ の 他 未 収 収 益	492,910	599,315	704,115	811,971	919,836	1,015,781
(B) 負 債	42,564,723	17,866,504	21,331,416	8,139,998	34,932,917	5,062,394
未 払 収 益 分 配 金	1,782,396	1,803,119	1,786,236	1,769,569	1,664,976	1,645,701
未 払 解 約 金	39,273,091	14,574,026	18,010,279	4,831,768	31,848,914	1,933,938
未 払 信 託 報 酬	1,493,551	1,458,280	1,489,140	1,477,940	1,344,497	1,393,620
そ の 他 未 払 費 用	15,685	31,079	45,761	60,721	74,530	89,135
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	1,767,094,985	1,756,580,289	1,746,641,393	1,737,636,569	1,649,414,118	1,640,059,840
元 本	1,782,396,518	1,803,119,394	1,786,236,112	1,769,569,318	1,664,976,574	1,645,701,542
次 期 繰 越 損 益 金	△ 15,301,533	△ 46,539,105	△ 39,594,719	△ 31,932,749	△ 15,562,456	△ 5,641,702
(D) 受 益 権 総 口 数	1,782,396,518口	1,803,119,394口	1,786,236,112口	1,769,569,318口	1,664,976,574口	1,645,701,542口
1万口当り基準価額(C/D)	9,914円	9,742円	9,778円	9,820円	9,907円	9,966円

* 元本状況

期首元本額	1,819,976,201円	1,782,396,518円	1,803,119,394円	1,786,236,112円	1,769,569,318円	1,664,976,574円
期中追加設定元本額	60,370,798円	48,647,154円	1,532,137円	1,431,316円	11,304,236円	1,231,412円
期中一部解約元本額	97,950,481円	27,924,278円	18,415,419円	18,098,110円	115,896,980円	20,506,444円
* 元本の欠損	15,301,533円	46,539,105円	39,594,719円	31,932,749円	15,562,456円	5,641,702円

欧州バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）

損益の状況

項 目	自2018年10月23日 至2018年11月21日	自2018年11月22日 至2018年12月21日	自2018年12月22日 至2019年1月21日	自2019年1月22日 至2019年2月21日	自2019年2月22日 至2019年3月22日	自2019年3月23日 至2019年4月22日
	第 7 期	第 8 期	第 9 期	第 10 期	第 11 期	第 12 期
(A) 配 当 等 収 益	6,255,845円	6,274,563円	6,279,129円	6,321,688円	5,904,918円	6,311,493円
受 取 利 息	6,156,234	6,173,938	6,178,836	6,216,466	5,803,810	6,220,107
そ の 他 収 益 金	105,746	105,446	103,942	107,622	104,846	95,761
支 払 利 息	△ 6,135	△ 4,821	△ 3,649	△ 2,400	△ 3,738	△ 4,375
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△17,068,866	△33,728,677	3,541,837	4,251,756	11,529,396	6,503,051
売 買 益	192,214	387,323	3,560,000	4,272,000	11,973,438	6,560,828
売 買 損	△17,261,080	△34,116,000	△ 18,163	△ 20,244	△ 444,042	△ 57,777
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,525,922	△ 1,495,534	△ 1,524,450	△ 1,512,251	△ 1,375,932	△ 1,428,278
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C)	△12,338,943	△28,949,648	8,296,516	9,061,193	16,058,382	11,386,266
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	4,601,193	△ 9,374,432	△39,717,724	△32,871,168	△23,905,315	△ 9,394,837
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 5,781,387	△ 6,411,906	△ 6,387,275	△ 6,353,205	△ 6,050,547	△ 5,987,430
(配 当 等 相 当 額)	(6,108,658)	(6,705,361)	(6,661,245)	(6,619,413)	(6,439,505)	(6,387,432)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△11,890,045)	(△13,117,267)	(△13,048,520)	(△12,972,618)	(△12,490,052)	(△12,374,862)
(G) 計 (D+E+F)	△13,519,137	△44,735,986	△37,808,483	△30,163,180	△13,897,480	△ 3,996,001
(H) 収 益 分 配 金	△ 1,782,396	△ 1,803,119	△ 1,786,236	△ 1,769,569	△ 1,664,976	△ 1,645,701
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△15,301,533	△46,539,105	△39,594,719	△31,932,749	△15,562,456	△ 5,641,702
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 5,781,387	△ 6,411,906	△ 6,387,275	△ 6,353,205	△ 6,050,547	△ 5,987,430
(配 当 等 相 当 額)	(6,108,658)	(6,705,361)	(6,661,245)	(6,619,413)	(6,439,505)	(6,387,432)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△11,890,045)	(△13,117,267)	(△13,048,520)	(△12,972,618)	(△12,490,052)	(△12,374,862)
分 配 準 備 積 立 金	19,518,150	22,195,321	25,486,991	28,876,839	30,760,710	34,344,472
繰 越 損 益 金	△29,038,296	△62,322,520	△58,694,435	△54,456,383	△40,272,619	△33,998,744

*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

<分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

決 算 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期	第 10 期	第 11 期	第 12 期
(A) 配当等収益（費用控除後）	4,729,923円	4,779,029円	5,304,396円	5,417,513円	5,438,890円	5,608,066円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 （費用控除後、繰越欠損金補填後）	0	0	0	0	0	0
(C) 収 益 調 整 金	6,108,658	6,705,361	6,661,245	6,619,413	6,439,505	6,387,432
(D) 分 配 準 備 積 立 金	16,570,623	19,219,411	21,968,831	25,228,895	26,986,796	30,382,107
分配可能額 (A+B+C+D)	27,409,204	30,703,801	33,934,472	37,265,821	38,865,191	42,377,605
(1 万 口 当 り 分 配 可 能 額)	(153.78)	(170.28)	(189.98)	(210.59)	(233.43)	(257.5)
収 益 分 配 金	1,782,396	1,803,119	1,786,236	1,769,569	1,664,976	1,645,701
(1 万 口 当 り 収 益 分 配 金)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)	(10)

分配金のお知らせ

決 算 期	第 7 期	第 8 期	第 9 期	第 10 期	第 11 期	第 12 期
1万口当り分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

■分配金のお支払いについて

分配金のお支払いは各決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

■課税上のお取扱いについて

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。

※法人の受益者の場合、税率が異なります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

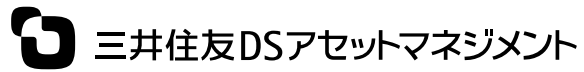
※課税上のお取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

大和住銀投信投資顧問株式会社は、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友DSアセットマネジメント株式会社となりました。

委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。（2019年4月1日付）

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。



三井住友DSアセットマネジメント